

ツキノワグマ被害対策支援センター開所！

令和2年7月1日、ツキノワグマ被害対策支援センターが開設されました。センターでは、県内でのクマによる人身事故を未然に防ぐため、地域の実情に応じた被害対策の提案・指導や専門的知見からの情報提供を行っていきます。また、この「あきたツキノワだより」でセンターから情報発信をしていきます。

ツキノワグマ被害対策支援センター開所にあたり センター長 澤田智志



このたび、ツキノワグマの人身被害対策に特化した全国初となる支援センターを生活環境部自然保護課内に設置することになりました。

センターでは、県内におけるツキノワグマ被害対策の一層の充実を図ることを目的として、専用のスマートフォン使ったホットラインを開設し、休日や夜間を含め必要な時に、職員が市町村の被害対策担当者等への、迅速かつ確かな情報提供や助言を行ってまいります。

また、クマの被害対策について市町村等からの相談にワンストップで対応し、現地等での関係者への助言を行ってまいります。

さらに、研修や現地指導を通じた被害対策を担う地域の人材を育成し、現場検証等を踏まえた被



害対策の立案や普及啓発にも取り組んでいくこととしています。

今後とも、県民の安全安心を確保するため、県内外のクマ対策に当たる関係機関との連携を強化し、クマによる人身被害が無くなるよう職員一丸となって頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

秋田の人身事故、分析しています

みなさんは秋田県で毎年何件の人身事故が発生しているかご存知ですか？平成20年以降では、年間平均10.5件の事故が発生しています（最多は岩手県の13.8件）。多くの都道府県は0～3件なので、秋田県は事故の多い県と言えます。

しかし、秋田県のクマが特別凶暴ということではありません。山が豊かで深く、クマが多く生息していること、山菜採り文化が根強いことから、事故が多いものと考えられます。実際に、春の山菜採り、秋のキノコ採りの時期に事故が多いことが分かっています。

事故を防ぐには、その原因を探り、予防策を考えることが欠かせません。また、クマが人を積極的に襲ったのか、クマ自身の防衛のために襲ったのかを見極めることも非常に重要です。後者の場合は同じクマによる事故が続くことはありません

が、前者の場合はそのクマを駆除しなければ第2・第3の事故が発生する危険性があります。

今年度は残念ながら既に5件の事故が発生しています（表）。②～⑤については現場検証を行い、事故原因を検証することができました。どれも積極的に人を襲った事例ではなく、②～④はクマとバッタリ会ってしまったことが事故の原因と考えられました。バッタリ会わないための行動が事故予防になります。検証できた事故については県のホームページに概要を掲載しています。裏面のお知らせもどうぞご覧ください。



	月日	場所	山/里	被害者行動
①	5/5	仙北市西木	山	山菜採り下見
②	5/27	大仙市協和	山	タケノコ採り
③	6/21	北秋田市阿仁	山	水口確認
④	7/13	仙北市駒ヶ岳	山	パトロール
⑤	7/16	東成瀬村岩井川	里	草取り

クマの忌避剤を埋め込んだ柵、効果のほどは！？

7月22日、秋田市外旭川地区にクマの忌避剤を埋め込んだ柵を設置しました。ここはクマの通り道とみられ、付近では県道を横断するクマが毎年目撃されています。横断した先には学校や福祉施設があるため、クマに県道を横断させない方策のひとつとして、柵の効果試験を実施することとしました。この柵は秋田県立大学と(株)ウッディさんないが共同開発したもので、トウガラシ成分を使った忌避剤が木杭とロープに染みこませてあります。設置作業をしている間、人も軽くゴホッとくる刺激がありました。嗅覚の鋭いクマにはより強い刺激があるのではないかと推測されます。柵の付近には自動撮影カメラを設置し、訪れたクマの行動を観察することとしています。試験は10月末まで。結果は改めて本紙面等でご報告します。



ツキノワグマ
被害対策
支援センターの

主なうごき

月
日

- 7月 1日 ツキノワグマ被害対策支援センター開所
- 2日 鹿角市ツキノワグマ対策机上訓練
- 9日 雄和椿川地区ツキノワグマ対策協議会出前講座
- 13日 駒ヶ岳人身事故現場検証
- 17日 男鹿市ツキノワグマ出前講座
- 18日 東成瀬村人身事故現場検証
- 20日 大内小学校(由利本荘市)出前講座
- 21日 湖北小学校(三種町)出前講座
- 22日 秋田市外旭川地区クマ防除試験
- 8月 1日 鹿角市三ツ矢沢ゾーニング事業

7月は出前講座が4件あり、施設管理者等(9日)、保育園の先生等(17日)、小学生(20, 21日)を対象に、クマの生態や対策についてお話をしました。また、ここに示した他、秋田市・鹿角市・三種町でクマ出没現場の確認や対策指導等を行いました。

- ▼(左) 県立中央公園に設置された注意喚起看板。内容について助言させていただきました。
- (右) 男鹿市ツキノワグマ出前講座の様子。



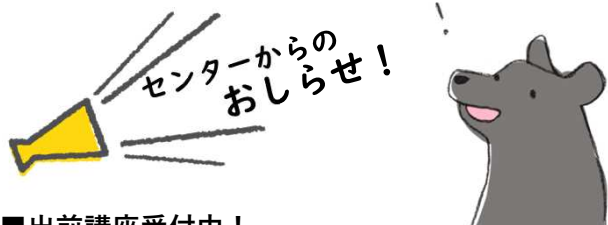
今後の予定



(R2.8.6時点)

- 8月21日 市民向け講習会「ツキノワグマとの事故を避けるには」
10:00~11:00 @小坂町交流センター
13:30~14:30 @鹿角市十和田市民センター
- 8月24日 同講習会
13:30~14:30 @鹿角市尾去沢市民センター

* 市民向け講習会の詳細については、鹿角地域振興局森づくり振興課(0186-23-2275)へお問い合わせください。



■出前講座受付中!

クマの被害に遭わないために、生態や対策を学んでみませんか? 学校や町内会など、県内どこでも出張いたします。お問い合わせは秋田県自然保護課(018-860-1613)まで。

■人身事故記録の公開、はじめました

今年度発生した人身事故について、現地調査の結果をまとめ、県ホームページで公開しています。事故発生地点の写真や、どのような対策が必要だったのかなどを掲載していますので、事故防止に役立てていただければと思います。右のQRコードもしくは「秋田県 ツキノワグマ」で検索して開くページの中ほどにあります。ぜひご覧ください。



秋田県 ツキノワグマ

あきたツキノワだより Vol. 1 (2020年8月6日)
秋田県生活環境部自然保護課
ツキノワグマ被害対策支援センター発行

記事内容に関するお問い合わせ、要望などは以下まで!
Tel: 018-860-1613 Fax: 018-860-3835
Email: Shizenhogoka@pref.akita.lg.jp